



美木中だより 3月号

学校教育目標

自立貢献

～自己を認識し、自分の人生を選択し、
表現することのできる生徒の育成～

令和8年3月12日
発行
尾道市立美木中学校

令和7年度 第77回卒業証書授与式を挙りました

3月6日（金）、午前9時30分から令和7年度尾道市立美木中学校第77回卒業証書授与式を挙りました。1年生も2年生も出席、多くの来賓の皆様にもご臨席して頂きました。今年度の卒業生79名は、たくさんの思い出とさまざまな思いを胸に本校を立派に巣立ちました。卒業証書授与式の答辞では、卒業生代表である綾目伊桜くんが、このような言葉を皆さんに伝えました。

「在校生の皆さん、これから様々なことに挑戦する中で、不安になることやうまくいかないこともあると思います。周りを見てください。仲間がきっと皆さんを支えてくれます。そして、自分の役割に責任をもって、最後までやり抜くことを大切にしてください。」というエールを受け止め、切磋琢磨を通して、生きる意味を見いだすとともに、この先にある未来を切り拓いてくれることと信じています。卒業生の皆さん3年間素晴らしい姿を見せてくれて本当にありがとうございました。進路先でも自分らしさを大事にしてください。



令和7年度 立志式を行いました。

3月9日（月）、午後2時から令和7年度尾道市立美木中学校立志式を行いました。立志式とは、15歳を迎える前の中学2年生の今の時期に『志』を立て、自分の将来に向けて、精神的な支えにしよう」と行う儀式です。本校ではまず、中学校2年生全員が強い気概を持って自らの夢に挑戦していく思いを文章につづりました。

そしてこの立志式においてその代表として生徒会長 清水 溪杜 くんが「誓いの言葉」を、掛谷 咲綾 さん・迫田 姫空 さん 大古 望羽 さん 鉄谷 優奈 さんが「志宣言」を披露しました。自分の夢は何か、そして夢の実現に向けてどのように自分が過ごしていくのかを、しっかりと自分の言葉で語って行きました。2年生はこれからの人生をどう過ごしていくか、改めて考えるすばらしい機会となりました。



式辞（卒業式）

梅の花から桜の蕾へと季節は移り変わり、春の訪れを感じる今日のよき日に、尾道市企画財政部長 中山 泰則 様を始め、多くのご来賓の皆様、先ほど告示をいただきました尾道市教育委員会 庶務課長 井上 伸一郎 様、そして、多くの保護者の皆様のご列席を賜り、本校 第七十七回卒業証書授与式を挙行できますことに衷心より、厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

保護者の皆様には、本日はお子様が義務教育九年間を終わられ、晴れて中学校をご卒業されますこと、誠におめでとうございませう。入学時から、ずいぶんと体も大きくなり、精神的にも大きく成長されたわが子の姿は、これまで注がれた愛情の賜物であり、お喜びはいかばかりかとお拝察申し上げます。また、これまで本校教育に対しまして多くのご協力をいただき、本日を迎えることができましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう。私が皆さんと一緒に美木中学校に来てから早、三年がたとうとしています。皆さんが一年生の時は、本当に元気の良い学年というイメージでした。皆さんが二年生の時、一緒に関西へ修学旅行に行きましたが、その時の整然とまとまった集団行動などを通して、皆さんの成長ぶりを目の当たりにし、「この子たちが三年生になったら、美木中の当たり前前のレベルをより高いものにしてくれるだろう。」と大きな期待感を抱きました。そして、年度が変わり、皆さんが三年生になると、予想通り、ええじゃんSANS A・がり踊りコンテストで久しぶりの三位入賞を果たし、その勢いのまま体育大会を大いに盛り上げ、尾道市中学校芸術祭音楽コンクールでは準グランプリに輝きました。文化発表会では、三年間の思い出を劇仕立てで発表するなど新たなことにも果敢にチャレンジしました。また、学習面においても、英検I B Aで優秀校になるなど、数々の素晴らしい結果を残しました。皆さんは、この三年間、当たり前前の事を当たり前前にやり切ることう、凡事徹底を学年目標としてきました。私たち教職員は、皆さんの姿を通して、コツコツと努力を続けることの大切さや、「継続は力なり」ということを改めて教えてもらいました。そして後輩たちには、目指すべき、高い目標を示してくれました。本当に、ありがとうございました。

さあ、卒業生の皆さんは、いよいよ自分が決めた進路への入り口に立とうとしています。皆さんが生きていくこれからの未来は、どのような未来なのでしょう。AIやITなどの急速な技術革新、グローバル化、地政学リスク、環境問題などが相互に絡み合い、今、世界は変化の激しい時代と言われ、将来を予測するのがとても困難な時代と言われています。皆さんは、変化の激しい社会の中で、自分自身で将来を切り拓いていかなければなりません。そのためには、変化を前向きに受け入れ、自ら主体的に「課題を見つけ・学び・解決する力」が必要となります。

「一生勉強、一生青春」これは、詩人であり書家でもある相田みつをさんの言葉です。いくつになっても学ぶ姿勢を持ち続け、新しいことに挑戦し続ける限り、心は若々しく輝き続けられるという意味です。「自分には何ができるか」を探し、追求していくなかで生まれた「特性」が、これからの世界を生き抜く術になります。それを得るために、今、皆さんがやるべきことは「挑戦」です。その積み重ねによって、輝かしい明日や未来が約束されるのです。失敗を恐れず、いろいろな事に挑戦してください。

一方で、人は一人で生きていくことはできません。皆さんには多くの仲間がいます。これから歩む人生は、決して平坦ではないでしょう。辛い時も多々あることと思います。そんな時にこそ、美木中学校での三年間のことう、そして皆さんを励まし続けてきた多くの仲間のことう、そして皆さんを支え続けてくださっている家族のことうを思い出してください。

終わりに、卒業生の皆さん、そして本日ご臨席くださいました皆様方のますますのご発展、ご多幸を祈念申し上げます、第七十七回卒業証書授与式の式辞といたします。

令和8年 3月6日

尾道市立美木中学校長 阿世比丸 一樹